

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	宇都宮市子ども発達センター 若葉園 宇都宮市子ども発達センター かすが園
------	---

公表日 令和8年 4月 10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	41	0	・お子さんの人数があまり多くなならないよう、時間ごとに使用するクラスを分けている（雨天時）。 ・共有スペースの利用時間を雨天時ローテーション等しており、柔軟に対応できている。	・雨の日など特に、時間帯によって、療育室内に子どもの人数が多いと感じることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	40	1	・休みの職員に関して、職員の補充ができています。	・マンツーマンで支援が必要な児が複数在籍しており、不足と感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	41	0	・TEACCHの手法を用いて構造化された環境に整っている。 ・様々なところに絵カードがあり、見て分かりやすい形にしている。 ・絵カードや手順書を使用して子どもに分かりやすく構造化している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	40	1	・（かすが園は特に）危なくないよう、マットを敷いている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	40	1	・お子さんの機嫌やパニック等の対応で個別の部屋を使用できるようにしている。 ・子どもが選択できるよう絵カードを使用している。	・お子さんがクールダウンできる部屋があると良いかと思う。
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	39	2	・基本的にできている。 ・専門職の意見を聞き、会議を開き、子どもの様子を共有しながら計画を立てている。	・会計年度任用職員を含めたすべての職員の総意ではないことも多い。 ・活動内容については、振り返りと次につなげる話し合いが必要だと感じる。

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	41	0	・懇談や保護者学習会等を行っている。 ・評価結果に基づき、会議を行い意見交換を行いながら、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	41	0	・会議やミーティング等を行っている。 ・行事や係の職員から意見を都度募っている。 ・クラス会議で出た意見を、全体に伝えるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	37	4	・外部評価を行う。 ・第三者による外部評価は行っていないが、行事ごとの振り返りや職員会議等で意見を出し合い、業務改善に繋げている。	・外部評価のフィードバックはあまり知らされていないため不明である。 ・よくわからない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	41	0	・随時研修の案内があり、学びの機会について情報提供されている。 ・月に1回の園内研修に参加している。 ・研修の案内が多く、興味のあるものも多い。 ・外部講師による研修も多く、障がいへの理解や支援学校についてだけでなく、保育士のメンタルケア等、幅広い知識を得ることができた。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	41	0	・支援プログラムを作成し、契約時に保護者に説明するほか、ホームページに掲載するとともに、園内にも掲示していつでも誰でも見られるようになっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	41	0	・お子さんの育ちについて評価を伝える際に、お子さんと保護者のニーズや課題を把握し共有した上で、個別支援計画に反映させている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	41	0	・専門職を含めたお子さんに関わるすべての職員が参加する会議を開催し、お子さんの状況について共有した上で個別支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	41	0	・個別支援計画は職員全体に共有し、計画に沿った支援を実施している。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	41	0	・適切にアセスメントし確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	41	0	・支援プログラムで示している5領域を含めた総合的な支援を実施している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	40	1	・毎月のクラス会議で、支援の仕方等も細かく検討している。 ・専門職の先生も交えて、チームで作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	41	0	・職員が様々なアイデアを出し合い、活動に変化を持たせながら工夫し実践している。 ・2クラス合同のリズム遊びを取り入れる等、他クラスと一緒に活動する機会を設けたり、コーナー遊びを行ったりした。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	41	0	・お子さんの状況に応じた活動内容を設定し、支援を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	41	0	・毎朝必ず打ち合わせをしている。 ・毎朝ミーティングでその日のお子さんの支援について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	40	1	・毎日は難しいが、気づいた点については、常に報告し合い共有できている。 ・意識的に振り返りを行っていく。 ・クラス共有のノートを所持し、情報共有を行っている。 ・児への関わり方や様子、保護者と話した内容等細かな部分まで共有するようにした。	・行事の準備や研修等で毎日行うのが難しい日もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	39	2	・日誌に記録している。	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	40	1	・ 6か月ごとに評価している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	40	1	・ 担任を含めて、お子さんに関わる職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	40	1	・ 健康診断，歯科健診，尿検査等を年2回実施している。 ・ 併行通園している児について，通園先と連携し，情報交換を行っている。 ・ 関係者会議に参加したり，開催したりしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	41	0	・ 併行通園している児の園を訪問したり，来てもらったりして，情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	41	0	・ 年度末，年度初めには，就学先と情報交換を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	40	1	・ 市内の児童発達支援事業所や相談支援事業所の職員がセンターで実施している療育等について見学できる機会を提供している。 ・ 療育の質の向上を目的とした研修会や情報連携のための意見交換会等を実施している。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	41	0	・ なるべく多くの職員が平均して研修会に参加できるよう職員体制を工夫し実施する。	・ もっと外部研修に参加できる人数を増やしてほしい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	39	2	・ 子ども発達センターとして，自立支援協議会や，子ども・子育て会議に出席している。 ・ 行事等において地域の方と関わることもある。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	41	0	・保育園が併設されており、行事等交流しやすい環境であることを活かして、日常的に交流を行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	41	0	・電子連絡帳や、送迎時を利用して情報共有を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	41	0	・保護者学習会にペアレントトレーニングを取り入れた。 ・保護者学習会の場が設けられており、年間を通して、保護者にとって有益な情報や学びを得られる機会がある。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	41	0	・園内に掲示している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	41	0	・入園面接時や評価を伝える際など、お子さんや家族の意向を聞く機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	41	0	・年に2回懇談日を設けており、そこで個別支援計画の説明を行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	41	0	・要望に応じて個別に懇談を行うなど、家族支援を行っている。 ・その場でお答えできない場合には一旦時間をいただき、上司に相談し助言を受けたり、クラス等で対応を話し合ったりした後、お伝えしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	39	2	・親子活動、遠足、クリスマス会等を実施しており、保護者同士の交流が図られている。 ・保護者からの要望に応じて、きょうだい等に対する支援を検討する。	・きょうだい同士の交流の場が必要である。 ・コロナ以降、きょうだい交流は難しいと感じる。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	41	0	・相談があった際は、すぐに上司に相談し、応じられるような体制を作っている。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	41	0	・毎月、園だよりと給食献立表、そのほか、食育だより、健康だよりを3か月に1回配信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	41	0	・同意書に基づき十分留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	41	0	・保護者の要望に応じた方法で情報伝達をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	39	2	・近隣の足利銀行に、子ども達の作品を展示させていただいている。 ・行事への招待はコロナ以降難しくなっているが、掲示板等で情報を発信している。	・地域住民を行事に招く必要がある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	41	0	・会議等において、定期的にマニュアルの見直しを行ってきた。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	41	0	・毎月様々な災害を想定して訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	41	0	・看護師が中心となり保護者に状況を確認し、対応を周知している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	41	0	・栄養士及び看護師が中心となり保護者に状況を確認し、対応を周知している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	41	0	・安全管理を十分行っただうえで支援を実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	41	0	・家族に対して訓練の実施内容などについて周知している。	

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	41	0	・毎月、職員会議において怪我やヒヤリハットの件数について集計するとともに、原因や対応について考察し、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	41	0	・代表者が研修を受講し復命研修をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	38	3	・身体拘束が必要と決定したことはないが、必要な場合は組織的に決定し、保護者に周知することについて認識している。	・身体拘束を行っていないため（いいえ）との回答が3件